

主直日誌

2月28日（水） 天候 bc

主直氏名

【実習内容】

基隆港出港 携行品リスト作成

【感想】

4日間の台湾研修を終え、台湾時間で9時頃基隆港を出港しました。9時出港予定であったのに、水先案内人待ちで15分遅れて出港しました。「雨の基隆、涙の高雄」という言葉通り、出港時に雨が降り始め、4日間の研修での貴重な経験が頭の中で走馬灯のように浮かびあがりました。基隆での実習は日本との違いに衝撃や感動を繰り返し、常に刺激を受けてきました。しかし、これから5日は 乗船実習の本来の目的は「船を動かすことを学ぶことだ」と私自身に言い聞かせ、気持ちを切換え乗船実習モードで頑張ります。

やいづは工業国（NISE）を象徴する基隆のコンテナターミナルを通りぬけて大海原に出て、午後には尖閣諸島を左舷に見ながら東北東に走っています。そんな中、台湾で購入したお土産の携行品リストを作成しました。それは焼津入港後、税関がそのお土産に税金がかかるか、あるいは輸入禁止であるか確認するためのものです。これは個人の輸入に関することではありますが、社会で学んだGATTやTPPが頭に浮かびました。学んだことと現実が少

しリンクした気がしました。

焼津入港までに何を学んでおかなければならないのか、今一度考え直し、出来るだけ多くのことを学んでゆきたいです。

